

■開設年度		■開講部局	
2019		共通教育	
■科目名			
現代の日本政治			
■英語科目名			
Present Japanese politics			
■前後期	■開講区分	■科目形態	■単位数
前期	毎週	講義	2
■（28年度以降入学生）中分類		■（28年度以降入学生）小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野（選択科目）	
■（25年度以降入学生）中分類		■（25年度以降入学生）小分類	
b. 知力：人文・社会科学		10. 法・政治を学ぶ	
■（24年度以前入学生）大区分		■（24年度以前入学生）中区分	
教養科目		分野2	
■受講学部学科			
全			
■担当教員		■担当教員所属	
吉田健一		稲盛アカデミー	
■連絡先（TEL）		■連絡先（MAIL）	
099-285-3753		k5621643@kadai.jp	
■オフィスアワー（授業時間外の対応）			
■共同担当教員			
■アクティブ・ラーニング			
5. 学習の振り返り；			
■アクティブ・ラーニング（「その他」の内容）			
■アクティブ・ラーニング（授業回数）			
15回中10回			
■〈理念〉重要視する教育目標			
3. 〈論理的思考〉 1) 幅広い視野から課題の解決策を考えることができる			
■〈理念〉教育目標			
2. 〈情報収集・精査・統合〉 1) 必要な情報を収集できる			
■〈理念〉教育目標			
2. 〈情報収集・精査・統合〉 2) 集めた情報を信頼性や必要性に基づき精査できる			
■〈理念〉教育目標			
3. 〈論理的思考〉 2) 多様な情報の信頼性を論理的に説明できる			
■授業概要（目的・内容・方法）			
1. 授業の目的は、我が国の戦後政治史の知識を得た上で、今日の課題への理解を深めることである。			
2. 授業の内容は、大きく2期に分かれる。1回目「はじめにー政治とは？」から7回目「利益団体・社会集団・ネットワーク」までは、基本的な知識を伝授する。8回目から15回目までは、戦後の我が国の政治史を、主要政党の歴史に焦点を当てて概観する。本講義は「現代の日本政治」であるが、現在起こっている事の時事解説を直接的に行うものではない。現在起こっていることへの理解を深めるためにはある程度、歴史的な視点が必要であるという観点から、本講義では、前半では、政治を見る際の視点に触れた、後半では、我が国の現代政治について学ぶ。			
3. 授業の方法は、配付したオリジナルテキストを使いながら解説して行くが、随時、補足資料も配付する。本講義では、発表や討論は予定していないが受講生のフィードバックシートに書かれた意見を紹介しながら、検討する時間を何回かは設けたい。			
■学習目標			
1. 政治学の基本概念をある程度まで解説できる。			
2. 戦後の我が国の政治史の流れの概略を解説できる。			
3. 現代日本政治の抱える政策課題についての意見を表明できる。			

4. 日々の政治ニュースを独自の視点で見ながら、自身の見解を周囲に解説できる。
5. 民主社会の一員として、主体的に世の中を作っていくことの意義を考え、結果として、自ら公共の課題について自分なりの価値観によって政策を判断できる。

■授業計画・試験の有無（16回〔初修語は31回〕に分け、回数、授業内容、自学自習等）

1. はじめにー政治とは？
2. 選挙・投票行動・政党制
3. マスメディアと政治意識
4. 政治を動かす「思想」と「利権」
5. 政治家の種類と仕事ー首長・国会議員・地方議員ー
6. 官僚制ー中央と地方公務員ー
7. 利益団体・社会集団・ネットワーク
8. 自由民主党1（1945年から佐藤栄作政権まで）
9. 日本社会党（含む：社会民主党）
10. 自由民主党2（田中角栄政権から宮沢喜一政権まで）
11. 自由民主党3（93年以降、現在の第2次安倍晋三政権まで）
12. 日本共産党
13. 民社党と社民連
14. 日本新党・新党さきがけ・新生党・新進党（90年代の新党）
15. 民主党及び民進党（96年第1次～第3次を経て民進党まで）、立憲民主党他
16. 期末レポート

■授業外学習(予習・復習)

予習：配布テキストの次回の講義の部分を一読してくること。

復習：授業で学んだ内容を振り返り（配布資料を読み返し）、感想をA4、1枚のフィードバックシートにまとめて、1週間以内に提出すること。

■受講要件

公共政策、現代政治の諸課題に関心をもっていること。選挙、政策、政治思想、政党制、地方自治、国際政治、外交、メディア、官僚制など何でも良いので何か1つ特定のテーマに関心を持っていることが望ましい。近隣諸国への差別的言辞を弄するもの他、以下の「その他」に該当する学生の受講は断ります。

■成績の評価基準

毎回のフィードバックシートの提出（50%）、期末レポート（50%）。

■教科書

受講者には、受講登録後、授業で使う講義用テキストの冊子を配布する。

■参考書

『日本政治史』全5巻・升味準之輔・東京大学出版会、
『戦後政治史』上・下、升味準之輔・東京大学出版会、
『現代政治』上・下、升味準之輔・東京大学出版会、
『日本政党史論』全7巻・升味準之輔・東京大学出版会、
『日本の政治』村松岐夫・伊藤光利・辻中豊 有斐閣 1992 他多数。

■地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）

■地域志向科目の区分（平成28年度以降入学生用）

■その他

レポートの中で近隣諸国（中国・韓国）への差別的な言辞を弄するもの、極端な右派的な思想を持っており、自身を疑わないもの、反知性主義の影響を受け、極端な国際政治観を持っているもの、沖縄ヘイトのような言辞を弄するもの、レイシスト（差別主義者）のような言辞を弄するもの受講は最初に断ります。